

北海道銀行との地域活性化に資する連携協力協定の締結

～金融機関との連携により北海道型地域構造保持の取組を推進～

北海道開発局は、株式会社北海道銀行（以下「北海道銀行」という）と連携協力協定を締結し、緊密かつ組織的な連携・協力体制を構築することで、食と観光を担う「生産空間」を支える取組を推進します。

「北海道総合開発計画」（平成28年3月閣議決定）では、北海道の強みである「食」や「観光」を戦略的産業とし、これら北海道の強みを提供する地域を「生産空間」と位置付けています。北海道開発局は、食料基地としての持続的発展、「観光先進国」実現をリードする世界水準の観光地の形成のため、食と観光を担う「生産空間」を支える取組を重点的に進めることとし、平成29年度からは、名寄、十勝南、釧路沿岸の3圏域をモデルに北海道型地域構造（生産空間）の保持のための検討を開始しました。

また、北海道銀行は、地方創生に積極的に貢献すべく、中期経営計画『BEST for the Region』を平成28年5月に策定し、少子高齢化や都市部への人口流出など地方における経済縮小が現実味を帯びつつある状況下において、金融サービスの提供によるお客さまと地域社会への貢献を通じて、地域と共に環境変化に打ち勝ち、成長・発展していくことを目指しています。

このため、北海道開発局と北海道銀行は、北海道の地域社会への貢献という共通の目標の下、相互の強みやネットワークを相乗的に活用し、より効果的な取組を進めるに当たり、緊密かつ組織的な連携・協力体制の構築のための協定を締結することとしました。

今般、この協定締結に当たり、下記のとおり締結式を行いますので、お知らせします。

記

<締結式の概要>

- 1 協定の名称 北海道開発局と北海道銀行の地域活性化に資する連携協力協定
- 2 日時 平成30年3月27(火) 14:00～14:50
- 3 場所 札幌第1合同庁舎（札幌市北区北8条西2丁目）15階 特別会議室
- 4 調印者 国土交通省北海道開発局 局長 和泉 晶裕
株式会社北海道銀行 頭取 笹原 晶博

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

開発監理部 開発計画課 開発企画官 山田 拓也（内線 5462）

上席開発計画専門官 本間 薫（内線 5467）



北海道開発局ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp>



北海道の地域社会への貢献という共通の目標の下、地域活性化の取組を北海道全体へ波及させるため、相互の強みやネットワークを相乗的に活用し、より効果的な取組の推進を期待。

経緯・趣旨

緊密かつ組織的な連携・協力体制の構築のための協定を締結

株式会社 北海道銀行

中期経営計画『BEST for the Region』(平成28年5月)

- 少子高齢化や都市部への人口流出、企業活動の海外志向の高まりを受け、特に地方での経済縮小が現実味を帯びつつある状況下において、金融サービスの提供によるお客さまと地域社会への貢献を通じて、地域と共に環境変化に打ち勝ち、成長・発展していくことを目指す。

北海道銀行の「強み」

- 広域地域金融グループとしての民間企業とのネットワークと総合的な金融サービス機能
- 金融機関としての知見に基づく情報提供・分析・提案力により、多くの地方版総合戦略の策定に協力
- 「アグリビジネス推進室」「国際部ロシア室」の設置など特色あるサポート体制を構築



国土交通省 北海道開発局

『北海道総合開発計画』(平成28年3月閣議決定)

- 北海道の強みである「食」と「観光」を戦略的産業として位置付け、食と観光を担う「生産空間」を支え、「世界の北海道」を目指す。
- 社会や時代の要請を踏まえながら、「世界水準の観光地の形成」「食料供給基地としての持続的発展」等に重点的に取り組む。

北海道開発局の「強み」

- 北海道開発事業を通じた地域の産業・経済への支援
- 地方自治体・行政機関とのネットワーク
- 様々な地域づくりや観光・交流に関する地域の取組との協働活動



相互の連携により、以下の取組を実施。

- **生産空間の保持、地方創生のための取組**
 - ☞ 地域の課題に対する意見交換、生産空間の保持のための取組への参画
 - ☞ 課題等を把握するための分析等の協力
 - ☞ 地域経済セミナーなどにより、地域を担う人材育成への支援
- **ほか地域活性化に資する取組**
 - ☞ 「食」、「観光」などの地域振興の取組へのビジネスマッチング等の支援
 - ☞ 広報、啓発に関する取組（開発事業のPR）



今後の取組